

平成31年度門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会（二次審査）議事録

開催日時 平成31年2月20日（水）午前10時00分～午後0時00分
開催場所 門真市民プラザ4階 門真市教育センター 研修室B
出席者 （委員）杉本委員、上甲委員、鈴木委員、満永委員、
寺西委員、三村委員、
（事務局）峯松学校教育課参事兼門真市教育センター長・
石原学校教育課副参事、今井学校教育課副参事
内 容 開会、審査方法説明、プレゼンテーション審査、集計、審査結果の
報告、総合評価、閉会
傍聴定員 ー （非公開のため）
担当部局 （担当課名）教育部 学校教育課 門真市教育センター
（電 話）072-887-6715

【事務局】

本日は公務等多用中ご出席いただき、まことにありがとうございます。
ただ今より、第2回門真市英語教育活動事業派遣 事業者選定委員会を開催いたします。
初めに、第1回の議事録のご確認をお願いします。お配りしました議事録（案）をご覧ください。お時間があるときに、目を通していただき、修正箇所等がございましたら、教育センターまでご連絡ください。

開催に先立ちまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

まず、「議事次第」です。

次に資料1「一次審査結果」でございます。

資料2「二次審査予定表」でございます。

資料3「二次審査評価基準表」でございます。

資料4「質問一覧表」でございます。

最後に二次審査における審査表でございます。

お手元のない資料はございませんでしょうか。

本日、委員6名中6名が出席されておりますので、この委員会は成立していることを報告いたします。それでは、この後の議事運営を杉本委員長にお願いしたいと存じます。杉本委員長、よろしくお願ひいたします。

<委員長>

それでは、平成31年度門真市英語教育活動事業派遣事業者選定委員会を開会します。
それでは、案件2「プレゼンテーション審査」の方法等について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

二次審査の方法等について、事務局よりご説明いたします。
資料2「二次審査予定表」をご覧ください。本日は、プレゼンテーション審査である二次審査を行っていただいた後、一次審査と二次審査を合わせた得点上位者を門真市英語教育活動事業派遣事業候補者に決定いたします。二次審査につきましては申請順にA社、B社、C社の順にプレゼンテーション審査を行います。プレゼンテーション審査では、申請団体から門真市英語教育活動事業派遣に関するプレゼンテーションを15分以内で行っていただきます。その後、10分間程度の質疑応答の時間をとらせていただきますので、委員の皆さんからは活発に質問をお願いいたします。審査表の回収は全ての申請団体のプレゼンテーションと審査の終了後に行います。事務局で得点の集計を行い、その後、派遣事業者を選定するための総合評価を行っていただきます。以上で、第二次審査の方法などについて説明を終わります。

【委員長】

ただいま、事務局より第二次審査の方法等について説明がありましたが、ご意見、ご質問はございませんか。皆様、よろしいでしょうか。
それでは、これからプレゼンテーション審査に移らせていただきますので、申請団体を入室させてください。

《A社 入室》

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了3分前と1分前に合図をいたします。15分後にタイマーが鳴りましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が派遣事業者として門真市英語教育活動事業を行っていただくにあたり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《A社 プレゼンテーション》

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。委員の皆様よろしくお願いたします。

【委員長】

では、まずは私の方からですが、この企画提案書やプレゼンのなかで「NETの指導力の強化」に力点を置かれたように感じましたが、その点につきましては、いかがでしょうか。

【A社】

おっしゃる通り、弊社といたしましては、NETによるアクティビティの幅を広げ、既習事項とのつながりを含め、授業が実施できるよう社内の研修にも力を入れています。

【委員長】

分かりました。では、2点目ですが、NETの派遣に関してですが、来年度も継続して配置をお考えでしょうか。

【A社】

NETの3名とも門真市の中学校においてうまく活用いただいております。NET自身にも来年の意向を確認しております。配置校の変更はあると思いますが、現時点では3名とも継続勤務を考えています。

【委員長】

では、NETを変える必要はないとお考えですか。

【A社】

指導力は一定基準を満たしていると考えており、学校から提出のあるアンケートを含め総合的に考えましても、交代の必要はないと考えております。

【委員】

では、次は私の方から、門真市においては、英語教育に喫緊の課題を抱えております。子どもたちのモチベーションがなかなか上がらない中、NETを使う場面をどのように与えていくのが重要だと思うのですが、何かお考えがあればお聞かせください。

【A社】

NETを効果的に活用し、英語を使う場面を多く設定し、NETとのやりとりを通じて生徒が楽しいと思える活動を増やしていくことが重要だと考えています。

【委員】

もう1点ですけれども、企画提案書の中で14年間門真市の英語教育に携わってきたと書かれておりますが、弊社が感じる門真市の特徴は何ですか。

【A社】

門真市の中学校においては、生徒一人ひとりのレベルの差を感じます。レベルが高い生徒はNETとも対話的な活動ができていますが、なかなか難しい生徒さんもいらっしゃいます。小学校におけるNETとのかかわりも方法とは考えられますが、中学校において35名いたら35名全員と1時間の授業の間に関わりを持てる授業をするようにと社内の研修会ではNETたちにも伝えていきます。

【委員】

では、次は私の方からですが、門真市では、NETの派遣が中学校2校に勤務であるため、隔週となっておりますが、何か工夫されていることはございますか。

【A社】

今年度より業務委託から派遣となり運営面でのハードルは上がったように感じておりますが、NETには先回りをし、先生方との関係を作ることが大事だと言っております。

【委員】

では、私の方から確認ですが、組合の係争関係になったことはございますか。大丈夫でしょうか。

【A社】

大丈夫です。

【委員】

では、次は私の方からですが、今年度NETが学期に1回ずつ小学校に派遣され、子どもたちがワクワクしながら授業を受けていたように感じております。来年度は新学習指導要領の移行期間でもあり、より一層英語教育が求められますが小学校での英語教育において工夫されているところがあれば教えてください。

【A社】

はい。まずは、長期休業中に集合研修として担任の先生への支援ができるような研修を考えております。

御市は、担任だけでなく支援員も配置されていると聞いております。4技能5領域を伸ばすためには、それを意識したコミュニケーション活動をとおして「聞く・話す」能力を育成するのも重要だと捉えております。また、CAN DOリストとして指針も提示できればと思います。

あとは、どのくらいの時間数を小学校に派遣できるかだと思います。

【委員長】

ありがとうございます。それでは、時間が来ましたのでこれで審査を終了いたします。審査結果につきましては、3月の第一週に通知させていただきます。ご苦勞様でした。

《A社 退室》

《B社 入室》

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了3分前と1分前に合図をいたします。15分後にタイマーが鳴りましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が派遣事業者として門真市英語教育活動事業派遣を行っていただくにあたり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《B社 プレゼンテーション》

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。

【委員長】

それでは、早速ですが私の方から、この企画提案書の中で最も力点を置かれているところは何か。

【B社】

小学校におきましては、来年度までが新学習指導要領の移行期間となっておりますが、NET がいなくとも担任の先生方が自信をもって授業ができるようサポートを提供させ

ていただきます。

【委員長】

ではもう1点、門真市では3名の派遣となりますが、具体的にどういう人材を配置するのかは決まっていますか。

【B社】

企画提案書の47ページにも何名か記載させていただいておりますが、学校様より要望をお聞きしたうえで配置を決定したいと考えています。

【委員】

私の方からですが、門真市の今の状況から、英語を学ぶ必要性を感じない子どもが少なくはないのですが、どのような手立てをすればモチベーションが向上するとお考えでしょうか。

【B社】

弊社では、NET とのかかわりを大事にしております。その中で子どもたちが、外国語を身近に感じることができ、「英語が楽しい」と思えるような環境づくりを進めてまいりたいと考えております。

【委員】

もう1点だけですが、先ほどのプレゼンの中で、学校に対しての新学習指導要領の研修というお話がございましたが、具体的にどのようなものか、教えてください。

【B社】

小学校においては、来年度まで外国語の移行期間中であることから、今年の6年生と来年の6年生とは学習内容が同じではないので、中学校を含めた段階的な指導計画について研修を予定しております。

【委員】

私から1点ですが、組合との係争関係になったというようなことはございませんか。

【B社】

はい。ありません。

【委員】

私からですが、門真市では、中学校に3名配置するという事で隔週勤務になります
が、打ち合わせなどの面で工夫されることはありますか。

【B社】

NETと密に連絡を取り、常に指導計画における情報共有をすることで、前段階での準備
をしております。

【委員】

この企画提案書の中に、NETの日本語能力がレベルで示されていますが、門真市に派遣
を予定している先生方の日本語能力について具体的に教えてください。

【B社】

企画提案書に記載されている「初級・中級・上級」においては、先生方とのコミュニ
ケーションが取れる、又打ち合わせができるレベルの日本語能力を持ったものとして
考えております。

【委員】

小学校においては学期に1回程度と配置回数が少ないのですが、関わりの少ない中で
の対応や工夫はどのようにお考えですか。

【B社】

NETの派遣回数が少ないということで、NETが小学校へ行かれた際に対応できるよ
う、レクシンプランも用意しております。尚、こちらから提供させていただくレクシ
ンプランは日本語と英語が見開きで記載したものとなっており、NETが来た時に打ち
合わせ、相談等にも対応できるようなものとなっております。

小学校の先生方が負担とならないように考えられたものを提供させていただきます。

【委員】

私の方からは、教員研修の内容について、もう少し詳しく教えてください。

【B社】

弊社では、企画提案書にも記載のとおり、様々な内容に対応した研修内容の実績がご
ざいます。これらから集合研修としてモジュールを組み合わせ、門真市独自の研修内
容と考えております。

【委員長】

ちなみに、門真市でしていただける集合研修は何回と想定していますか。

【B社】

設定の金額の中で考えた際に、弊社としましては、集合研修を1回と考えております。

【委員長】

1回ではその提示された内容を網羅するのは難しいと思います。せめて、学期に1回と想定したほうがいいのではないのでしょうか。

【B社】

今すぐ回答は致しかねますので、また上の者と相談のうえなるべく希望に沿った形で進められたらと考えております。

【委員長】

それでは、時間が来ましたのでこれで審査を終了いたします。審査結果につきましては、3月の第一週に通知させていただきます。ご苦労様でした。

《B社 退室》

《C社 入室》

【事務局】

それでは、これよりプレゼンテーション審査を始めます。はじめに15分以内でプレゼンテーションを行ってください。終了3分前と1分前に合図をいたします。15分後にタイマーが鳴りましたら、ただちにプレゼンテーションを終了してください。その後、委員から質問を行いますので、簡潔明瞭にお答えください。なお、審査で発言された内容は全て記録され、貴団体が派遣事業者として門真市英語教育活動事業派遣を行っていただくにあたり遵守すべき事項となりますので、ご承知おきください。それでは、プレゼンテーションを始めてください。

《C社 プレゼンテーション》

【委員長】

それでは、質疑応答に移ります。

【委員長】

まず私の方から1点お願いをしたいのですが、講師の資質に関してですが、冊子を見せていただく限り、いろんな資格等を必ず持っておられる方が多いのですが、基本的にそのような人材を派遣していただけるのですか。それは約束できるのですか。

【C社】

はい。もちろんです。

【委員長】

それと日本語能力に関してはどの程度の方を派遣していただけるのでしょうか。

【C社】

一言で言いますと、打ち合わせに困らない程度の日本語のコミュニケーションがとれるということで、検定2級ということではなく、4～3級程度の挨拶から打ち合わせをすることができる程度の者をと考えております。

【委員長】

それからもう1点。門真市の子どもたちの実態をある程度事前に研修されると思います。それらを見込んで子どもたちに対して柔軟に対応できる人材を求めています。どうお考えですか。

【C社】

弊社は437の自治体様のお手伝いをさせていただいており、もちろん近隣でもたくさん自治体様、いろんな学校様、いろんな生徒様がおられます。NETのトレーニング等では、授業だけではなく、児童生徒との接触といったところを含めて、いろいろな総合的に英語の授業ではないところでも、生徒さんとの関わり方、コミュニケーションの持ち方などの研修もしております。

【委員】

よろしいでしょうか。門真の子どもたちの課題としまして、英語に向かうモチベーションの向上というのがありますが、なかなか英語を学ぶ意義がすとんと落ちないといった子どもが少なくない門真市において子どもたちに英語を学ぶ楽しさや必要性をどう伝えていくのか御社の考えや工夫を教えてください。

【C社】

はい。例えば、「We Can!」でいきなり「Let's Watch and Think」を見て英語で進めるのではなく、その前に、先生やNETがその狙いに沿った事前の準備ということで、スモールトークで身近な話題で児童と話し合ってから教材に入っていくことを大事にしております。頭の中を切り替える作業が必要かなと。導入部分でNETを活用していただきますとより興味関心を持って次の授業に入ってもらえるかなというように考えております。

あと、言語活動を整えることが必要かなと思います。例えばそのテーマであったり、言語活動の題材が子どもたちにとって興味のあることなのかどうかかなど精選することが大事だと考えております。

【委員】

私からは、門真市では、中学校6校に3名配置ということで隔週の勤務になりますが、打ち合わせなどの工夫はありますか。

【C社】

今ご紹介させていただきましたこちらの指導案でございますが、CAN DO リストをもとに作成しました指導案があり、日本語版と英語版の冊子を作成しております。また、御市は「NEW HORIZON」を使っていますが、教科書にも準拠したものとなっており、1週間空いたとしても同じものを先生とNETが持っていることでこの辺だと進度を予想することができます。また、ワークシートやフラッシュカードもすべて整えておりますので、先生方にとっては、準備を効率的にしかも指導を統一的に進めていけることが可能ではないかと考えております。

【委員】

では、次に私からは小学校ではNETの派遣の回数が少ない状態で、楽しいで終わってしまい積み上げができないのですが、そのあたりの工夫などはありますか。

【C社】

限られた時間の中で、学級担任の要望にあわせ年間を通して授業されている流れに合わせる形の派遣を考えております。事前に合わせていただいて何をするかをきちんと考えて進めます。

授業外の活動も提供いたします。例えば掲示板活動やお手紙やお昼の放送の音声などです。

【委員】

まず初めに、組合との係争関係になったことはありませんか。

【C社】

ございません。

【委員】

次に教員研修についてですが学習指導要領に応じた教員研修に関してはいかがですか。

【C社】

大きく分けて2通りございます。

1つ目は派遣時間内にNETを活用した校内研修です。12の校内研修に使っていただけるトピックを持っていますので、ひと月に1つはできるようになっております。

2つ目は有識者の話を聞きながらの研修です。年に1回は弊社が費用負担させていただき集団研修させていただきます。

【委員長】

ありがとうございます。それでは、時間が来ましたのでこれで審査を終了いたします。審査結果につきましては、3月の第一週に通知させていただきます。ご苦勞様でした。

《C社 退室》

【委員長】

それでは、これより審査について意見交流を行いたいと思います。何かご意見や確認したいことはございませんでしょうか。

【事務局】

それでは、審査表の最終確認をお願いいたします。

【委員長】

審査表はどういたしましょうか。

【事務局】

それでは、10分後に事務局で審査表を回収し、集計を始めます。

【委員長】

よろしいでしょうか。それでは10分後に回収いたします。

《回収・集計》

【委員長】

それでは選定委員会を再開いたします。まず、事務局から集計結果について報告をお願いします。

【事務局】 それでは、第一次審査との総合得点での集計結果について報告いたします。

第1位は、「株式会社インタラック関西東海」で、総合得点が150.7点です。

第2位は、B社で148.9点です。

第3位は、C社で137.2点です。

以上で集計結果の報告を終わります。

【委員長】

それでは、総合評価に入りますが、この集計表やご報告のありました結果について、何かご意見のある方はありませんでしょうか。

【委員】

妥当な形かなと思います。門真市の実情を知っておられ、門真市の現状もかなり調べてきており、ここまで門真市のことを考えてくれているなら任せてもいいのかなと感じました。熱意も感じました。

【委員長】

他にご意見はございませんでしょうか。

【委員】

小学校においてヒントが少ない中、すごく具体的な内容が提案されたことは実績や経験があるからだと思いました。

【委員長】

それでは皆様、よろしいでしょうか。それでは、平成31年度門真市英語教育事業派遣事業候補者を「株式会社インタラック関西東海」とし、もし、この団体が派遣事業に指定するのに著しく不適当な事由が生じた場合は、2位の「B社」を派遣事業候補者とします。

最後に、今後のことについて事務局より説明をお願いします。

【事務局】

それでは、今後についてご説明いたします。

まず、本日の総合評価の結果を、申請団体に対して、郵送にて通知いたします。併せて、市ホームページにて選定結果を公表いたします。委員の皆様におかれましては、ホームページに公表される3月の第一週までは審査の結果について口外されませんようお願いいたします。

次に、会議録の公開については、派遣事業候補者が公開された後にしたいと考えておりますので、今後、御発言の箇所の確認をお願いいたします。

【委員長】

只今、事務局より今後のことなどについて説明がありましたが、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。なければ、以上をもちまして、平成31年度門真市英語教育事業派遣事業者選定委員会を閉会したいと思います。本日はどうもありがとうございました。

【事務局】

大変お忙しい中、御参集いただき、誠にありがとうございました。